

2023 関西地区空調・冷熱初夏特集

的場商事

吹田市 委託の 下水道関連事業が堅調

排水管ライニングも業務量確保



的場 広宣社長

的場商事（社長＝的場広宣氏、本社・大阪府吹田市川岸町21-45）は、公共下水道の管渠（かんきょ）洗浄・調査・更生などの下水道関連事業と、排水管ライニング事

業を二本柱とする。下水道関連事業では、地元吹田市から受注した下水道管路施設維持管理に関する包括委託業務が今年度に最終年度を迎え、計画的に業務を遂行している。排水管ライニング事業では、業務連携先の元請け会社から下請け受注する工事業務が端境期なく入っており、仕事量は十分確保できている。近年は大型の集合住宅での工事に対応する機会が多い。同社は両事業の受け皿を強化するため、若手人材の採用活動を強化している。

前期（2023年4月期）も両事業で安定感のある着地を実現した。今期（24年4月期）の滑り出しも順調に推移している。下水道関連事業は2020年度に吹田市発注

の下水道管路施設維持管理に関する包括委託業務を受注できたことが大きい。同社を含む5社の共同企業体（JV）で受注した業務で21、23年度までの間、継続して仕事がある。的場商事はJVの統括管理会社を務めているため、管路の点検・調査、修繕・改築等の業務報告書をまとめ、都度、市に進捗（しんちよく）を報告している。的場社長は下水道関連事業に関

して「今年度で吹田市の包括委託業務が最終年度となる。これまで市の要請に基づき緊急対応や、下水道管路に対する予防保全の提案等で実績を積み重ねている。さらにより良いサービスの提供に努めていく」と話す。

他方、排水管ライニング事業に関しては、同社はパイプの中にパイプを作る「特許技術と全国的な知名度のあるP・C・Gテクニカ（本社・名古屋）の「FRPライニング工法」の施工代理店を務めている。FRPライニングは集合住宅や工場など老朽化した排水管を更生する技術。管の中に高強度の繊維強化プラスチック（FRP）管を特殊な工法で形成するのが特徴。P・C・Gテクニカの技術指導を受けた的場商事はFRPライニングを自社で施工できる強みがある。

集合住宅の管理組合を発注先とした自社による元請け工事もあるが、的場商事の近年の傾向は、P・C・Gテクニカが受注した関西地区での工事

案件に当社が協力会社として下請け工事に対応する機会が多い。6月から大阪市内の大型マンションでの工事が控えているという。

同社では業務量の増勢に対し、実働部隊の工務社員の手が追いつかない実情がある。このため当面の課題は働き手の確保に尽きる。特に「自社の将来を考慮し、10代、20代の新卒社員を採用したい」（的場社長）とし、同社は昨年、採用活動を意識して自社のウェブサイトを刷新した。また大阪府内の高校の進路指導室への巡回訪問を強化し、新卒社員の求人活動に注力した。そのかいあって、今年4月に高校卒の新卒社員を迎え入れることができたという。的

場社長は「入社以来、すぐ真面目に働いてくれている。しっかりと育成していきたい」と期待を込めた。